

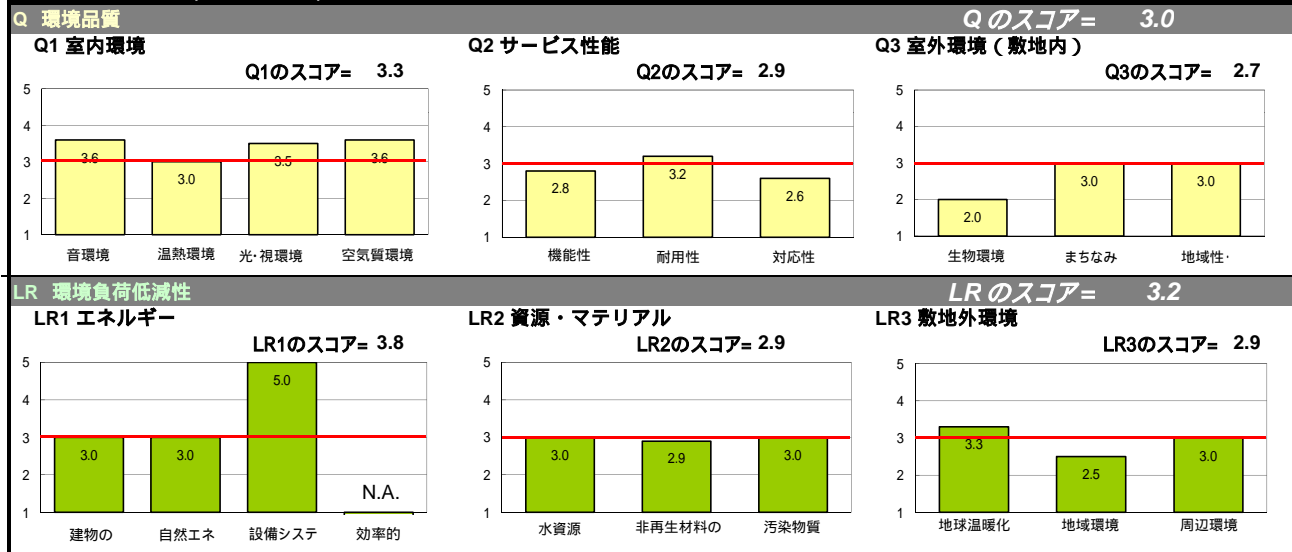
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大滝町1丁目マンション計画	階数	地上11階
建設地	横須賀市大滝町1丁目1番5ほか1筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	160人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2013年6月18日
敷地面積	519 m ²	作成者	株式会社ディスク
建築面積	427 m ²	確認日	2013年6月18日
延床面積	3,685 m ²	確認者	株式会社ディスク



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
	0	
Q1 室内環境 ・ガラスは遮音性能T-3を使用している。 ・昼光率は、共用部：6.7%、住居部：3.8%である。 ・住戸内床材は乾式二重床で、遮音性能LL-45、LH-50である。 ・建材は、ほぼ全面的にFを採用している。	Q2 サービス性能 ・外壁材は磁気質タイルを使用しており、耐用年数40年である。 ・配管材料は、給水管・汚水管・雑排水管でBを使用し、Eは不使用である。	Q3 室外環境(敷地内) ・防犯カメラを設置し、見通しの良いフェンスを設けて、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー ・潜熱回収型高効率ガス給湯器を使用している。	LR2 資源・マテリアル ・乾式二重床・LGSを使用していて、再利用が可能である。	LR3 敷地外環境 ・駐輪場・駐車場を設置している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される